

梅は咲いたか？桜はまだかいな号

ブル通信

2503

ああパトカー5台に

囲まれてしまったのであった

すこし前のことである。いつも清く正しく美しく（まあ美しくはないが）犯罪とは無縁な俺であるが、ある日、ちよつとしたことが理由でパトカー5台に囲まれて犯罪者のような扱いを受けてしまったのであった。

事の顛末は以下のとおりである。

車を買ったのである。もちろん中古車ではあるが、やや高級車の部類に入る車で色は黒、前から漠然と欲しいと思っていた車ではあるが予算面で折り合わず諦めていたのであるが、年式の割には走行距離が多く、なんとか予算内で収まりそうな車があるオークション会場に出てきたのであった。そこは車屋なので〇万円以内で落札できれば、まあ悪い商いではないなと決めてチャレンジ。予想価格より結構安く落札できたので超ラッキーだったのである。車検証等名義変更に必要な書類はすぐにオークション会場から届いたので先に車庫証明の申請をして名義変更が出来るばかりの状態にして車が陸送屋さんによって届くのを待っていたのであった。おおむね1週間くらいで車が届いたのである。

うおおおお、カッコいいではないか！うひゃうれしい！とうかれていたのがまずかったのである。悪夢はここから始まったのである。

車の名義変更というのは県外から自分の住所地に名義変更す

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入 売却
車検 修理
査定 見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

る場合、車検証や印鑑証明、それに車庫証明などの書類と一緒に各地にある陸運事務所に現在についているナンバー、つまりこの場合は県外のナンバーを車両からはずし、名義変更書類と一緒にナンバーを提出すると新しい自分の住所地のナンバーが交付される仕組みなのである。

さて新しい車が来て調子に乗っていたわしは試し乗りがてら、昼飯を食いにいくことにしたのである。どこに行こうかと考えたとき、そうだ！あの全国チェーンの牛丼屋なら直線のパイパスの先だから、結構アクリセルも踏んで試乗できると考えたのであった。まずエンジンをかけてみる。おおながながしい音ではないか！スポーツモードに切り替えてギアをDレンジに入れる。アクリセルを踏むとおお！かなりいい加速ではないか！ちよつと遠回りして牛丼屋に入ったのである。

よし納車祝いだあ！ということだったのでその日はいつもの牛丼並みにたまごとみそ汁まで奮発して食べていたときである。携帯がなったのであった。会社？出てみると衝撃の一言が待っていたのである。今、乗っていた車、前後ともナンバーついてないですよ。えっ！えっ！えっ！なんで？どーも書類係のおねーちゃんの名義変更のためにナンバーを外してあったみたいなのである。あせったわしは牛丼を掻き込み、奮発したみそ汁を半分残したまま牛丼屋の駐車場に行ってみると、ああナンバーが確かにない。やってしまった。すぐに会社に折り返し電話を入れて、すまぬが積載車で迎えにきてくれるように頼んだのだが、仕事はかなり混みあっているみたいで少し時間かかりますよ。との返

答。待つからとにかく積載車に積んで帰る以外ないんで、なるべく早めに頼むと頼んで車中で待っていたのであった。5分ほど経ったころだろうか？牛井屋駐車場にパトカーが連なって入ってくるのではないかと俺ではないだろうか？と思っていたらクラウンのパトカーがいきなり俺の車の前に横付けで止まり、車をとりあえず動けないようにされてしまったのである。黒のやや高級車のナンバーなしということと通報されたようである。とりあえず車を降りて、いや違うんですよ。といいながら免許証を出したが「何が違うんだね？」とかなり高圧的な警官2名に囲まれていたところ最終的にサイレンを鳴らしながら全部で5台のパトカーが終結、なんか警察24時みたいな状態になってしまったのである。そのうちに牛井屋のねーちゃんがあつたんですかあ？と問延びのした声で見にきやがつて、たぶん通報者はこのねーちゃんだろうなあ。と思いつながら警官に事の初めから顛末を説明。そのうち積載車が来たので積んで会社に戻ろうとしたのだが、本当かどうか確認すると1台のパトカーは会社までついてきたのであった。さらに社内には書類係のねーちゃんにも説明を求め、やっと解放されたのであった。

まあ自分の不注意とはいえ、返す返すも残念なのは奮発したみそ汁を通報により半分飲めなかったのだから半額返金して欲しいものである。

一度は調べた方がいいよ 無料で使える 「グーグルダークウェブレポート」

「ダークウェブ」という言葉を聞いたことあるでしょうか？インターネット上に存在する、通常の方法ではアクセスすることが出来ない「闇サイト」と思っただけ、いいんだけど、Googleとかヤフーとかの検索エンジンの検索ではヒットしなくて、ある特殊なソフトを導入することによりアクセスが可能となるわけですが、「ダークウェブ」では漏洩した個人情報やカード情報、違法な薬物や武器、偽造書類などが売買されています。

す。海外を起点としたトロリユウ型の犯罪はこういった所から情報を仕入れて強盗や振り込め詐欺などのターゲットを決めていると言われています。

で、自分なんか関係ないや。と思わずに一度個人情報があったサイトに掲載されていないか？確認しておくことは重要だと考えています。確認はGoogle「ダークウェブレポート」というサイトで確認するのですが、確か昨年7月まで有料だったのですが現在無料となったので僕もやってみたのですが、僕の「グーグル」のメールアドレスとパスワードが漏れていることがわかり即パスワード変更をしました。かなりの確率で色々な情報が洩れているようです。

さて確認方法ですが…

①まずはGoogleにログイン（IDやパスワードが不明であっても、「グーグルマップ」を使っている人であれば既にGoogleにはログインしている状態になっているはずですが）

②スマホの場合は右上のプロフィール写真、またはイニシャルを押します

③そうすると「グーグルアカウントの管理」というのが出てきます

④セキュリティのタブをタップします

⑤下にスクロールして「ダークウェブレポート」をタップします

⑥「ダークウェブレポート」でモニタリング開始をタップします

たったこれだけなのですが、情報漏洩がある場合、どんな情報漏洩があるのか結果が出てきます。パスワード等であれば即時変更、カード情報であれば即時カード番号の変更、口座番号等であればその口座にはお金はおかない。引き落とし口座となっている場合は引き落とし口座の変更、などですが、やっかいなのは携帯番号や住所が漏れている場合、簡単に変更ができないので家のセキュリティ強化などはやったほうがいいかもしれません。

僕も昨年末、海外からの発信で警視庁捜査2課の中村を名乗る人物から〇〇さんの携帯ですか？と名指しで電話がきて、とっさに違います。と切りましたが名前や携帯が漏れている場合は違いますということと犯罪者が持っている情報の価値を下げる事が出来ると思います。以前はFBとかもやっていましたが今は少しでもリスクを下げる目的でやっていません。調べたおいて損はないはずですよ。